

よくある質問

- Q** このような試験があることを初めて知りました。いつから実施されていますか。
- A** 19年11月に初めて試験を実施しました。福祉の仕事は、少子高齢化などの影響により、社会にとって人々の生活にとってますます必要とされる仕事となります。しかし、どのようにすれば福祉の職場に就職できるのか、その方法がわからない方が多くいらっしゃいます。社会貢献したい、福祉の仕事に関心がある、など多くの方に福祉業界に入っていただきたく、合同採用試験をはじめました。
- Q** 複数の施設と同時期に面接ができることは大変嬉しいのですが、施設に辞退の電話をすることがとても負担です。
- A** ご安心ください。複数の施設から内定をもらった場合、人材センターがあなたに代わって施設にお断りします。
- Q** 試験は難しいでしょうか。また、どのような内容でしょうか。
- A** 決して難しいものではありません。小論文と適性試験です。小論文はいくつかテーマを出します。適性試験は行動特性などを見るものです。
- 過去の小論文テーマ（例）**
「あなたにとって福祉の仕事をする意義について、また、仕事をするにあたって大切にしたいことは何か」、「ワークライフバランス（仕事と私生活の両立）について」
- Q** 合同採用試験の日の午後にある参加施設の説明会はどのようなものでしょうか。
- A** ネットワークに参加していて、今回の試験において採用を予定している法人が一堂にそろう、法人や施設の説明やPRをする場です。今回参加する施設の法人情報や求人情報については、東社協ホームページにおいて公開します。内容をご覧いただき、不明な点、もっと知りたいことなどがあれば、ぜひ合同説明会で直接、法人に確認してください。特に、給与面、労働条件面などはこの機会に確認されることをお勧めします。
- Q** 合同採用試験の日の午後は既に予定があり、出席できませんが、大丈夫でしょうか。
- A** 大丈夫です。東社協のホームページに掲載する法人情報や求人情報をご確認の上、指定期日までに面接を希望する施設を所定の申込書にて人材センターにご提出ください。
- Q** どれくらいの法人が合同採用試験に参加しているのですか。
- A** 平成29年度第1回試験は今現在、69法人が参加を予定しています。
参加法人・求人情報を5月15日から東京都福祉人材センターのホームページ上で公開していますのでご覧ください。
- Q** 就職3年後に出向や転籍ができるということですが、具体的なしくみはどうなっていますか。
- A** 対象者には、「出向・転籍受入れ法人リスト」「出向・転籍の希望確認」をお渡しします。出向や転籍を希望される場合は、所属法人と話し合い東京都福祉人材センターにご連絡ください。その後、受入れ法人と希望者（出向の場合は、所属法人も含めて）が面接・話し合いを行い、出向・転籍の可否を決めることとします。
- Q** 出向、転籍とありますが、どのような意味合いでしょうか。
- A** 出向というのは、現在所属している法人に在籍したまま、別の施設で仕事をする事です。他の施設の状況を知りたい場合や仕事のノウハウやより高いレベルの仕事を習得するための研修の機会として出向することが考えられます。一方、転籍は、いわゆる転職と同じです。現在所属している施設を辞めて、別の法人の施設に転職することです。
- Q** 3年後の人材交流で、出向や転籍は必ずできますか。
- A** 必ず出向や転籍を保証するものではありません。出向や転籍を希望しても、希望先の施設に職員の空きがなければできません。いろいろな事情やケースを考えて、しくみを作っています。
- Q** 自分が所属している施設を辞めて、ネットワーク内の別の施設に転籍したいという場合に、現在勤めている施設での自分の評価情報がそのまま伝わってしまうのではないかと心配です。
- A** ネットワークという言葉から、個人情報も筒抜けという印象をもたれたのではないかと思います。ご安心ください。人材交流のしくみづくりの中で、転籍をする場合に職員が不利益を被ることのないような配慮をしていきたいと考えています。
逆に狭い業界の中で、オープンに転職ができるしくみができたとお考えいただければと思います。

